

プログラム

令和4年11月26日（土）

大阪医科大学薬学部 講堂

10:00～10:50

会長講演 座長 川原信夫（高知県立牧野植物園）

海外学術調査のすすめ - ポストコロナにむけて -

○御影雅幸（金沢大学名誉教授）

11:00～11:45

一般講演<口頭発表> 座長 佐々木陽平（金沢大院医薬保）

01. ドイツの修道院における薬用植物の栽培と利用

○五十嵐元子¹, Reingard Memmel², Katharina Mantel³

（¹医薬健栄研・薬植セ, ²Kloster Oberzell, ³Forscherguppe Klostermedizin）

02. 森野旧薬園の環境植物学的意義：生息植物の時系列的解析による生態評価

○高橋京子^{1,2}, 高浦（島田）佳代子^{2,3} 森野燁子²

（¹大阪大・博, ²森野旧薬園, ³近畿大・薬）

03. 宮城県蔵王町における紫根安定生産への挑戦と実情

○我妻典子, 我妻研司（蔵王薬農園）

お昼休み（11:45～13:00） 学生食堂利用可能

大阪医科大学薬用植物園（自由見学可能です）

総会（13:00～13:20）

特別講演

座長 芝野真喜雄（大阪医薬大・薬）

13:20~14:10

1. 最近の生薬原料の流通状況について

○栃本久美子（株式会社栃本天海堂）

14:10~15:00

2. 甘草資源供給の現状と今後の展望

○竹内博司（宏輝株式会社）

15:15~15:45

一般講演<口頭発表> 座長 古平栄一（北里大・薬）

04. 栽培マオウのアルカロイド含有率を高めるための収穫・調製法に関する研究

○小林愛実¹, 松嶋賢一¹, 倪斯然¹, 御影雅幸²

(¹東京農業大学大学院, ²元東京農業大学農学部)

05. 生薬の修治・炮製の科学的解明 - 麻黄加熱処理時の煙による健康被害の解明 -

○松田昂樹¹, 岩渕久克², 伊藤友彦², 芝野真喜雄¹

(¹大阪医薬大・薬, ²三栄源エフ・エフ・アイ(株))

16:00~17:30 (ポスター掲示時間 10:00~17:30 D棟ラウンジ)

一般講演<ポスター発表>

示説時間 16:00~16:45 これ以降 17:30まで自由討論

P1. ミシマサイコの種子選別方法の違いによる種子重量と発芽との関係

○横川貴美^{1,2}, 渥美聰孝¹, 井原進貴¹, 福田浩三³, 大塚功¹

(¹九州保福大・薬, ²城西大・薬, ³福田商店)

P2. ジャノヒゲにおける根の膨大部形成過程の解明

○古平栄一¹, 飯塚恵美¹, 尾崎和男², 芝野真喜雄²
(¹北里大・薬, ²大阪医薬大・薬)

P3. 積雪寒冷地における肥効調節型肥料を用いたトウキのマルチ栽培

技術の開発

○横井直人¹, 林茂樹², 五十嵐元子², 菱田敦之³
(¹秋田農試, ²医薬健栄研・薬植セ, ³東京農大・農)

P4. 牛尾山法嚴寺に自生するトウキの研究

○深田祐輔 (京都薬科大学薬用植物園)

P5. サンシュユの種子発芽に及ぼす偽果の採取時期の影響について

○野島佳帆, 北田明日香, 西森菜織鹿, 月岡淳子
(京都薬科大学薬用植物園)

P6. 湯もみが当帰の成分に及ぼす影響 (1) 成分変化率の部位間差異について

○工藤喜福, 橋本里菜, 安藤広和, 佐々木陽平 (金沢大院医薬保)

P7. 寒・寒冷地および暖地における肥効調節型被覆尿素を用いたトウキの生育推移と窒素吸収量

○林茂樹¹, 五十嵐元子¹, 安食菜穂子¹, 横井直人², 由井秀紀³,
白石豊⁴, 永井賢治⁴, 川原信夫^{1,5}, 菱田敦之^{1,6}
(¹医薬健栄研・薬植セ, ²秋田農試, ³長野野菜花き試佐久, ⁴愛媛農林水産研, ⁵牧野植物園, ⁶東京農大農)

P8. 吉野地方に自生する吉野人参の組織培養技術による増殖

○角谷晃司¹, 尾垣光治², 福田浩三³, 南基泰⁴, 吉川正人⁵,
西原正和⁵, 伊藤仁久⁶

(¹近畿大・薬学総合研, ²元近畿大・薬, ³福田商店, ⁴中部大・
応用生物, ⁵奈良県薬事研セ, ⁶近畿大・附属農場)

P9. エチレン発生資材を用いた国産つる性薬用樹木“カギカズラ”的 収穫後調製作業の省力化

○服部 侑, 小林泰子, 三井友宏 (三重県農業研究所)

P10. 高知県でのコガネバナ栽培の収量および主要成分の時期的変動と 栽培期間短縮の可能性について

○西村佳明¹, 宮本拓², 岩本直久¹, 西村政輝², 上地里佳枝², 富田
雅紀², 末岡昭宣¹, 土田貴志², 小森園正彦², 矢野博子², 川原信夫¹
(¹高知県立牧野植物園, ²小林製薬株式会社)

P11. 高知県におけるトウキの調製加工に関する検討

～大豊町東豊永地区での薬用植物の試験栽培～

○宮本拓¹, 岩本直久², 末岡昭宣², 西村佳明², 田中伶央¹,
西村政輝¹, 土田貴志¹, 小森園正彦¹, 氏原学³, 矢野博子¹,
川原信夫² (¹小林製薬株式会社, ²高知県立牧野植物園,
³東豊永集落活動センター)

P12. 収穫時期および施肥濃度の違いがシナマオウ(*Ephedra sinica* *Stapf*)の地上茎の成育に及ぼす影響

○酒井悠太¹, 山野幸子², 野崎香樹¹
(¹武田薬品・京都薬用植物園, ²広島大・薬)

P13. シードコンディショニング時の温度がミシマサイコの発芽勢に与 える影響

○渥美聰孝¹, 芝原一樹², 南基泰³, 塚本創士¹, 横川貴美⁴,
福田浩三⁵, 山本成郎², 大塚功¹
(¹九州保福大・薬, ²九州保福大・生命, ³中部大学・応用生物,

⁴城西大学・薬, ⁵福田商店)

P14. 高槻市北部に自生する野生モモの調査並びに薬用資源としての可能性について

○平田佳之, 忍穂陽介, 谷口雅彦 (大阪医薬大・薬)

P15. 栽培 *Ephedra sinica Stapf* の不安定な性表現

○金田あい, 安藤広和, 佐々木陽平, 御影雅幸 (金沢大院・薬)

16:00~17:30 (ポスター掲示時間10:00~17:30 D棟ラウンジ)

示説時間 16:00~16:45 これ以降 17:30まで自由討論

KP1. グリチルリチン酸生合成変異83-555-2系統の子系統の比較解析

○西川楓恋, 馬場まり子, 堀江あゆみ, 林宏明 (立命館大・薬)

KP2. 国内での甘草生産の試み ウラルカンゾウの系統間交配種の評価

○尾崎和男¹, 松田昂樹¹, 藤田浩基², 草野源次郎¹, 芝野真喜雄¹
(¹大阪医薬大・薬, ²新日本製薬(株))

KP3. スペインカンゾウ「新日本製薬GG01」の品種登録

○藤田浩基¹, 芝野真喜雄², 尾崎和男²
(¹新日本製薬(株), ²大阪医薬大・薬)

KP4. ウラルカンゾウの竹筒栽培法

○三宅克典¹, 石川真裕¹, 大場深蒼¹, 矢作忠弘², 野崎香樹³
(¹東京薬大・薬, ²日本大・薬, ³武田薬品・京都薬用植物園)

KP5. 秋田県美郷町における甘草生産の試み ウラルカンゾウ

(*Glycyrrhiza uralensis Fischer*) 実生株からの個体選抜

照井正樹¹, 熊谷和幸², ○佐藤博昭², 和田浩志³, 飯田修³,
加賀亮司³, 尾崎和男⁴, 芝野真喜雄^{3, 4} (¹(株)美郷の大地,
²美郷町役場 農政課, ³(公社)東京生薬協会, ⁴大阪医薬大・薬)

KP6. 福島県におけるカンゾウの実践的栽培研究

○伊藤徳家¹, 村田清志¹, 島田徹²
(¹奥羽大・薬, ²郡山市園芸振興センター)

KP7. 北海道でのカンゾウ大規模栽培

○佐藤茂, 波多江幸裕, 錦織義治, 八田嘉久
(王子薬用植物研究所株式会社)

KP8. 種間雑種 (*G. uralensis* × *G. glabra*) C-18 系統の特性と化学的 品質評価に関する研究

○芝野真喜雄, 松田昂樹, 尾崎和男 (大阪医薬大・薬)

令和4年11月27日(日) エクスカーション

武田薬品工業(株)京都薬用植物園 <https://www.takeda.co.jp/kyoto/>
9:30~ 受付

10:00~12:30 自由散策 各エリアに担当スタッフを配置します。
(終了後, 現地解散)

*紅葉シーズンのため京都市内の道路の混雑が予想されます。